

## 村長と区長会との懇談会を実施しました

11月27日、村長と区長会との懇談会を実施しました。多くの意見や質問等がございましたが、多くの自治体で課題となっている人口減少対策や、皆さまの生活の安心安全に直結する消防団についての質問がございましたので、ご紹介いたします。

■問合せ 総務課 ☎ 029-885-10340(内)204



### Q. 人口の減少について

平成15年頃には、およそ18500人台で、そこを人口のピークとし、そこから18年間で約20%もの人口減少（現在は15000人割れ）となっております。

人口減少の要因と、これからの見通し、他市町との合併についての可能性など、現時点で考えておられることを教えてください。

※本件は、多くの自治体の問題とは承知していますが、首都圏と言われる1都3県には含まれずとも、鉄道がない点を除けば、地理的には首都圏近くです。それにもかかわらず、人口減少の速度が速すぎると思います。

### A. 回答

このペースで進むと、比較的早い時期に、村として独立した財政を維持できなくなるという不安があります。

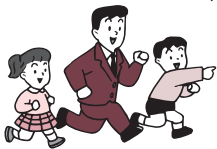
ご指摘のとおり、県内においてもつくばエクスプレス沿線など少数の自治体を除き、多くの自治体で人口の減少が進んでいます。本村の特徴としては、日本中央競馬会美浦トレーニング・センターの立地によるものと、バブル経済による人口増加があり、その後、自然減（出生数の減少）と社会減（転出者の増加）の両面で減少が進んでおります。

また、美浦トレーニング・センターにおける社宅の減築、また、厩舎の建替えに伴い居

住スペースが無くなってしまいうなど、特殊要因による人口減もあります。

人口の減少に伴い、独立した財政を維持できなくなるとの不安があるとは思いますが、人口減少がそのまま進みますと、自治体の財布の大ききである財政規模が小さくなってしまうため、村としても、人口減少への対策として、投資を呼び込むべく「地区計画」の策定や、教育施設への投資など、様々な政策を実施してきました。

これからも美浦村に住んでみたい、住み続けたいと思っていただけよう、行政も努力をしてまいりたいと思います。



### Q. 消防団について

今現在、消防団員の数がかなり減ってきたと聞いていますが、村内在住の若者たちが減っただけでなく、村として消防団の活動に対し、資金面での自粛や制限、予算の削減などを行っていただければご教授ください。

### A. 回答

若者人口の減少、被雇用者割合の増加及び社会情勢やライフスタイル並びに消防団に対する考え方の変化などにより、消防団員数は減少し、団員の構成も変化しています。適正な規模の活力ある消防団の確保をいかに図っていくかが、美浦村消防団の切実な課題となっております。

村としては、団員数の減少をカバーするために、分団の再編成を行い、1分団あたりの人数を可能な限り平準化するよう工夫しています。活動内容につきましては、団員の負担軽減のため、短い時間で実効性の高い訓練を企画・実践できるよう努めています。

また、村の財政状況の変化に伴い予算は削減傾向にありますが、厳しい状況の中でも、消防団員に対する年額報酬の増額や、必要経費の計上について、毎年根拠を示し、財政担当と協議を進めています。

そのような状況の中、いくつかの地区では「自主防災組織」を結成し、活動費をカバーするとともに、「自分たちの地域は自分たちで守る」といった動きもあります。自主防災組織の結成及び活動について村（及び県）は支援をし、補助金の活用も推進しているところですが、ご興味がありましたら、生活安全課消防防災係までお問い合わせください。

火災時だけでなく風・水害、地震等の大規模災害への対応など、幅広い活動に従事するため、地域と密着する消防団の重要性は非常に高くなっており、ご理解ご協力あつての消防団ですので、今後ともよろしくお願いたします。



◎各地区区長の皆さま、懇談会へのご協力ありがとうございました。